

平成28年11月7日

東京地下鉄株式会社

平成29年3月期第2四半期決算について

(金額単位:百万円)
百万円未満切捨て表示

1. 連結経営成績の概要

- ・当期の決算は、沿線のオフィスビル需要の堅調さや再開発、訪日外国人のご利用増加による旅客運輸収入の増加等により、増収
- ・諸経費の増加により営業利益は減少したものの、法人税等の減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加

	28年3月期 第2四半期(累計) A	29年3月期 第2四半期(累計) B	増減	
			金額 B-A	率 (B-A)/A
営業収益	204,003	208,155	+4,151	+2.0%
運輸業 (旅客運輸収入)	181,062 (164,263)	184,978 (167,408)	+3,916 (+3,145)	+2.2% (+1.9%)
不動産事業	5,968	6,119	+150	+2.5%
流通・広告事業	16,858	16,907	+48	+0.3%
その他	113	150	+36	+32.3%
営業費	145,705	149,993	+4,287	+2.9%
営業利益	58,297	58,162	△135	△0.2%
経常利益	51,539	51,741	+202	+0.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	33,793	35,592	+1,799	+5.3%

① 営業収益

2,081億円(前年同期比+41億円)

- ・運輸業は、沿線のオフィスビル需要の堅調さや再開発、訪日外国人のご利用増加に伴い、当社の旅客運輸収入が堅調に推移したこと等により、増収
- ・不動産事業は、不動産賃料の増加等により増収
- ・流通・広告事業の収益は、前年同期並み

② 営業費

1,499億円(前年同期比+42億円)

- ・当社の電気料の減少等があったものの、諸経費の増加により、増加

③ 営業利益

581億円(前年同期比△1億円)

④ 営業外損益

△64億円(前年同期比+3億円)

- ・営業外収益は、前年同期並みの4億円
- ・営業外費用は、支払利息の減少等により、3億円減少の68億円

⑤ 経常利益

517億円(前年同期比+2億円)

⑥ 特別損益

△0億円(前年同期比+0億円)

- ・特別利益は、鉄道施設受贈財産評価額等の計上により、0.9億円
- ・特別損失は、固定資産圧縮損等の計上により、1.4億円

⑦ 親会社株主に帰属する四半期純利益

355億円(前年同期比+17億円)

2. 財政状態及び長期債務の概要

- ・当期末の総資産額は、有価証券(譲渡性預金)の減少等により、前期末比4億円の減少
- ・当期末の負債額は、主に前期末に計上した工事代金等の未払金の支払により、前期末比215億円の減少
- ・当期末の純資産額は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前期末比211億円の増加

	28年3月期 期末 A	29年3月期 第2四半期末 B	増減	
			金額 B-A	率 (B-A)/A
資産合計	1,371,065	1,370,661	△403	△0.0%
負債合計	831,261	809,678	△21,583	△2.6%
純資産合計	539,803	560,983	+21,180	+3.9%
長期債務残高	600,338	599,335	△1,002	△0.2%
自己資本比率	39.4%	40.9%	-	-
D/E レシオ	1.1倍	1.1倍	-	-

(注1 長期債務残高=長期借入金残高+社債残高)

(注2 D/Eレシオ=長期債務残高/純資産額)

3. キャッシュ・フローの概要

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益と非資金科目である減価償却費の計上等により、563億円の資金の流入(前年同期比14億円の収入増)
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等により、690億円の資金の流出(前年同期比39億円の支出増)
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れ及び社債の発行による収入があったものの、長期債務の返済及び配当金の支払いにより、116億円の資金の流出(前年同期比135億円の支出減)

	28年3月期 第2四半期(累計) A	29年3月期 第2四半期(累計) B	増減 金額 B-A
営業活動による キャッシュ・フロー	54,869	56,335	+1,466
投資活動による キャッシュ・フロー	△65,109	△69,083	△3,974
(フリー・ キャッシュ・フロー)*	(△10,239)	(△12,748)	(△2,508)
財務活動による キャッシュ・フロー	△25,180	△11,649	+13,531
現金及び現金 同等物の増減額	△35,420	△24,397	+11,023
現金及び現金 同等物の期末残高	17,458	16,410	△1,047

* (フリー・キャッシュ・フロー) = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

【参考1】平成29年3月期第2四半期 連結損益計算書及びセグメント情報

連結損益計算書

(単位:百万円)	28年3月期 第2四半期 (累計) A	29年3月期 第2四半期 (累計) B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
営業収益	204,003	208,155	+4,151	+2.0%	旅客運輸収入 +3,145
営業費	145,705	149,993	+4,287	+2.9%	諸経費 減価償却費 +3,400 +887
営業利益	58,297	58,162	△135	△0.2%	
営業外収益	417	439	+21	+5.1%	
営業外費用	7,176	6,859	△317	△4.4%	
(うち支払利息)	(6,964)	(6,504)	(△459)	(△6.6%)	
経常利益	51,539	51,741	+202	+0.4%	
特別利益	117	98	△19	△16.3%	
特別損失	199	146	△52	△26.4%	
税金等調整前 四半期純利益	51,457	51,693	+235	+0.5%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	33,793	35,592	+1,799	+5.3%	法人税、住民税 及び事業税 △1,700

(百万円未満切捨て表示)

セグメント情報

(単位:百万円)	28年3月期 第2四半期 (累計) A	29年3月期 第2四半期 (累計) B	増減		主な増減要因	
			金額 B-A	率 (B-A)/A		
運輸	営業収益	182,280	186,198	+3,917	+2.1%	旅客運輸収入の増加
	(うち対外部顧客)	181,062	184,978	+3,916	+2.2%	
	営業費	129,662	133,675	+4,013	+3.1%	諸経費の増加
	営業利益	52,618	52,522	△95	△0.2%	
不動産	営業収益	5,986	6,128	+142	+2.4%	
	(うち対外部顧客)	5,968	6,119	+150	+2.5%	
	営業費	3,755	3,943	+188	+5.0%	
	営業利益	2,230	2,184	△45	△2.1%	
流通・ 広告	営業収益	18,541	18,642	+100	+0.5%	
	(うち対外部顧客)	16,858	16,907	+48	+0.3%	
	営業費	15,141	15,322	+181	+1.2%	
	営業利益	3,400	3,319	△80	△2.4%	
その他	営業収益	751	981	+229	+30.5%	
	営業利益	32	106	+74	+230.1%	

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。
内訳の合計値は連結営業収益・連結営業利益と一致しません。

(百万円未満切捨て表示)

【参考2】平成29年3月期第2四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)	28年3月期 期末 A	29年3月期 第2四半期末 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
流動資産	98,969	78,142	△20,826	△21.0%	有価証券 (譲渡性預金) △23,500
現金及び預金	17,315	16,418	△897	△5.2%	
その他	81,653	61,724	△19,929	△24.4%	
固定資産	1,272,095	1,292,518	+20,423	+1.6%	
有形固定資産	1,139,069	1,159,342	+20,272	+1.8%	
無形固定資産	97,528	96,437	△1,091	△1.1%	
投資その他の資産	35,497	36,739	+1,241	+3.5%	
資産合計	1,371,065	1,370,661	△403	△0.0%	
流動負債	197,265	181,082	△16,183	△8.2%	短期借入金 +3,500
1年内返済長期借入金 及び1年内償還社債	51,811	61,617	+9,806	+18.9%	
未払金	62,039	31,030	△31,009	△50.0%	
未払法人税等	19,122	17,383	△1,739	△9.1%	
その他	64,291	71,050	+6,759	+10.5%	
固定負債	633,996	628,595	△5,400	△0.9%	
社債	352,000	342,000	△10,000	△2.8%	
長期借入金	196,526	195,717	△808	△0.4%	
その他	85,469	90,877	+5,408	+6.3%	
負債合計	831,261	809,678	△21,583	△2.6%	
純資産	539,803	560,983	+21,180	+3.9%	
負債・純資産合計	1,371,065	1,370,661	△403	△0.0%	

(百万円未満切捨て表示)

【参考3】平成29年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	28年3月期 第2四半期 (累計) A	29年3月期 第2四半期 (累計) B	増減 金額 B-A	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,869	56,335	+1,466	
税金等調整前四半期純利益	51,457	51,693	+235	
減価償却費	32,655	33,542	+887	
営業債務の増減額	△10,685	△11,284	△599	
その他	△5,775	714	+6,490	未払消費税等の増減額 +7,080
法人税等の支払額	△12,783	△18,331	△5,548	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,109	△69,083	△3,974	
設備投資額	△67,222	△72,707	△5,484	
補助金の受入による収入	1,141	1,653	+512	
その他	972	1,970	+997	
(フリー・キャッシュ・フロー)	△10,239	△12,748	△2,508	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,180	△11,649	+13,531	
長期借入れ及び社債の発行による収入	24,921	29,873	+4,951	
長期借入金の返済及び社債の償還による支出	△37,240	△31,002	+6,237	
配当金の支払額	△12,782	△13,944	△1,162	
その他	△79	3,424	+3,503	
現金及び現金同等物の増減額	△35,420	△24,397	+11,023	
現金及び現金同等物の期首残高	52,878	40,807	△12,070	
現金及び現金同等物の期末残高	17,458	16,410	△1,047	

(百万円未満切捨て表示)

【参考4】平成29年3月期第2四半期 個別損益計算書

(単位:百万円)	28年3月期 第2四半期 (累計) A	29年3月期 第2四半期 (累計) B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
鉄道事業営業収益	181,550	185,438	+3,887	+2.1%	{ 定期 +1,582 定期外 +1,562
旅客運輸収入	164,263	167,408	+3,145	+1.9%	
鉄道線路使用料収入	700	774	+74	+10.6%	
運輸雑収	16,587	17,254	+667	+4.0%	
鉄道事業営業費	129,844	134,240	+4,396	+3.4%	{ 人員増 修繕費 +1,483 広告宣伝費 +1,012 管理委託費 +543 電気料 Δ2,496
人件費	42,513	43,960	+1,447	+3.4%	
経費	51,487	52,903	+1,415	+2.7%	
諸税	4,819	5,425	+605	+12.6%	
減価償却費	31,023	31,951	+927	+3.0%	
鉄道事業営業利益	51,705	51,197	△508	△1.0%	
関連事業営業収益	6,507	6,805	+298	+4.6%	
関連事業営業費	2,838	3,098	+259	+9.1%	
関連事業営業利益	3,668	3,706	+38	+1.0%	
全事業営業利益	55,374	54,903	△470	△0.8%	
営業外収益	2,474	2,540	+65	+2.7%	
営業外費用	7,149	6,799	△350	△4.9%	
(うち支払利息)	(6,994)	(6,526)	(△468)	(△6.7%)	
経常利益	50,698	50,644	△54	△0.1%	
特別利益	117	96	△20	△17.8%	
特別損失	117	96	△20	△17.6%	
税引前四半期純利益	50,699	50,644	△54	△0.1%	
法人税等	16,627	15,015	△1,612	△9.7%	{ 法人税、住民税 及び事業税 Δ1,740 法人税等調整額 +127
四半期純利益	34,071	35,629	+1,558	+4.6%	

【参考5】平成29年3月期第2四半期 個別貸借対照表

(単位:百万円)	28年3月期 期末 A	29年3月期 第2四半期末 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
流動資産	92,942	71,429	△21,513	△23.1%	譲渡性預金
現金及び預金	15,480	14,487	△993	△6.4%	
未収運賃	25,746	24,463	△1,283	△5.0%	
有価証券	23,500	5	△23,494	△100.0%	
その他	28,214	32,472	+4,257	+15.1%	
固定資産	1,264,025	1,283,631	+19,605	+1.6%	
鉄道事業固定資産	1,050,085	1,053,268	+3,182	+0.3%	
関連事業固定資産	38,824	39,164	+340	+0.9%	
各事業関連固定資産	16,921	40,129	+23,208	+137.2%	
建設仮勘定	122,513	115,127	△7,386	△6.0%	
投資その他の資産	35,680	35,941	+261	+0.7%	
資産合計	1,356,968	1,355,060	△1,907	△0.1%	
流動負債	216,972	200,240	△16,731	△7.7%	
1年内返済長期借入金	21,811	21,617	△193	△0.9%	
1年内償還社債	30,000	40,000	+10,000	+33.3%	
未払金	63,512	30,999	△32,512	△51.2%	
未払法人税等	17,884	16,252	△1,632	△9.1%	
その他	83,764	91,371	+7,607	+9.1%	
固定負債	631,265	624,339	△6,926	△1.1%	
社債	352,000	342,000	△10,000	△2.8%	
長期借入金	196,526	195,717	△808	△0.4%	
退職給付引当金	59,151	59,190	+38	+0.1%	
その他	23,587	27,431	+3,844	+16.3%	
負債合計	848,238	824,580	△23,657	△2.8%	
純資産	508,729	530,479	+21,749	+4.3%	
株主資本	508,481	530,166	+21,685	+4.3%	
評価・換算差額等	248	312	+64	+26.0%	
負債・純資産合計	1,356,968	1,355,060	△1,907	△0.1%	

(百万円未満切捨て表示)

【参考6】平成29年3月期第2四半期決算 運輸成績の概要

[運輸成績は、前年同期比で、輸送人員(合計)が2.1%増、旅客運輸収入(合計)が1.9%増と堅調]

区分	輸 送 人 員			
	28年3月期 第2四半期(累計) A	29年3月期 第2四半期(累計) B	増減	
			人員 B-A	率 (B-A)/A
	千人	千人	千人	%
定 期	748,595 (4,091)	764,994 (4,180)	+16,399	+2.2
定 期 外	554,651 (3,031)	565,446 (3,090)	+10,794	+1.9
合 計	1,303,246 (7,122)	1,330,441 (7,270)	+27,194	+2.1

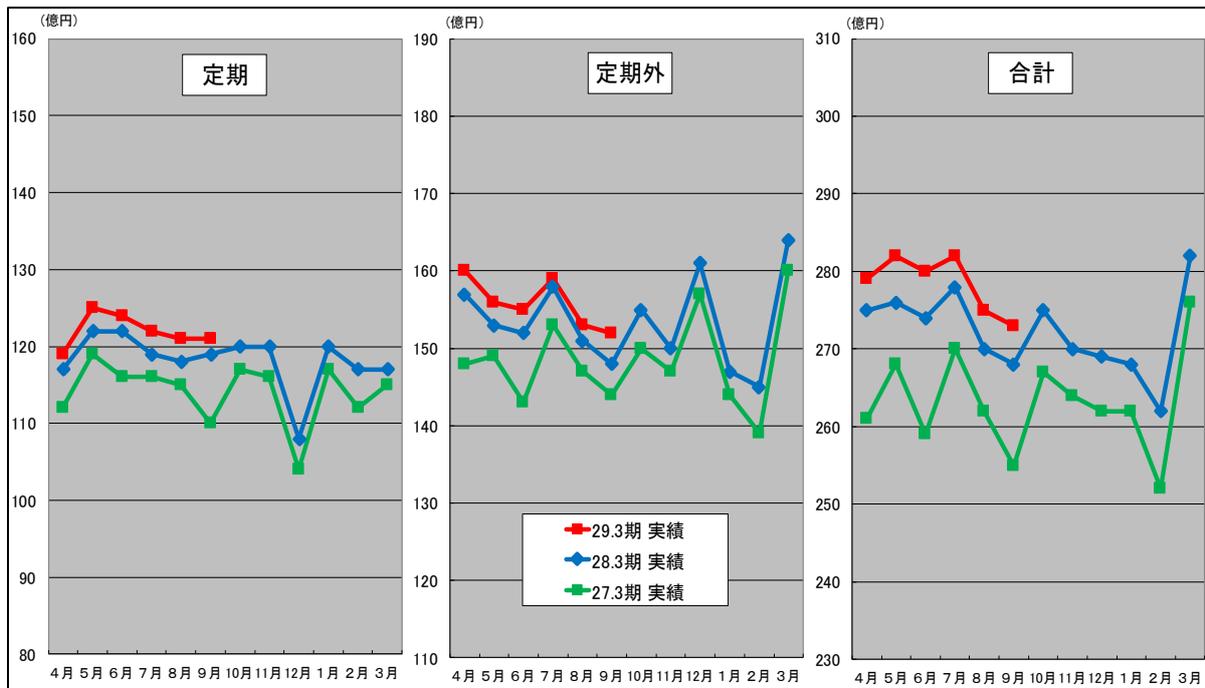
区分	旅 客 運 輸 収 入			
	28年3月期 第2四半期(累計) A	29年3月期 第2四半期(累計) B	増減	
			金額 B-A	率 (B-A)/A
	百万円	百万円	百万円	%
定 期	71,932	73,515	+1,582	+2.2
定 期 外	92,330	93,892	+1,562	+1.7
合 計	164,263	167,408	+3,145	+1.9

(注)1. ()内は一日平均

2. 単位未満切捨て表示(一日平均輸送人員は除く)

【参考7】月別実績の比較(定期・定期外・合計)

- 定期は、沿線のオフィスビル需要の堅調さや再開発等に伴い、各月とも前年同月を上回り、堅調に推移しました。
- 定期外は、休日のお出かけ需要や訪日外国人の増加により、私事利用・観光利用が好調に推移しており、各月とも前年同月を上回りました。



【参考8】主要駅における一日平均乗車人員の比較(前年同期比)

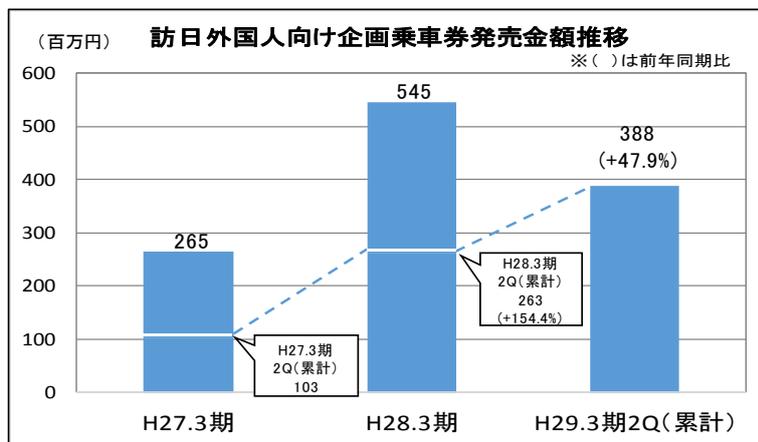
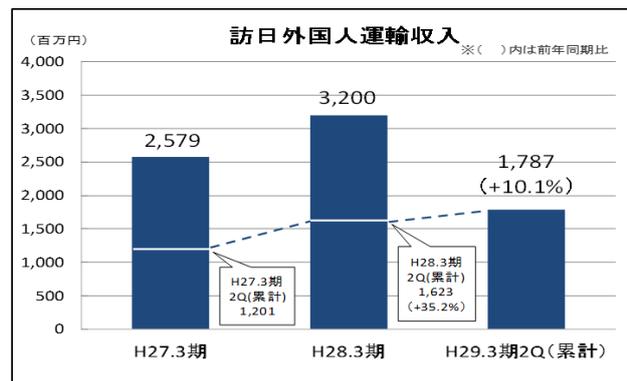
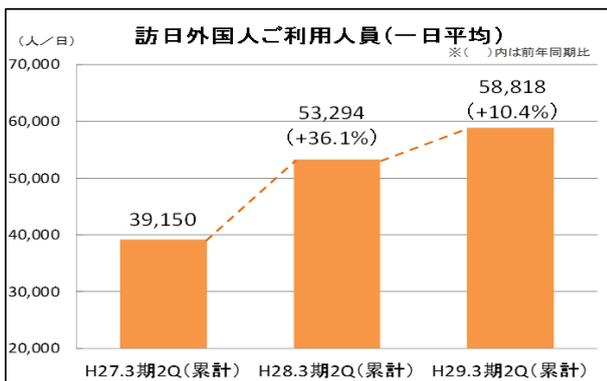
- オフィスビル需要の堅調さや、再開発、副都心線の相直効果等により、沿線全体ではほぼ満遍なくご利用が増加しました。
- 一方で、虎ノ門は、虎ノ門地区市街地再開発事業着手に伴うオフィスビル等の一時的な移転等による影響で減少したと見ております。
- 定期、定期外合わせた合計では、下図に記載の主要駅以外も含めた当社全駅のうち、90%以上の駅で増加しております。



(注) 平成28年3月期におけるご利用の多い上位30駅と浅草、東陽町、虎ノ門、明治神宮前、西新宿を記載

【参考10】訪日外国人の当社のご利用状況(推計)

- 昨年引き続き、平成28年4月に、訪日外国人に対してインターネットを利用したアンケート調査を行った結果、前回調査と比較すると一日平均箇所数（トリップ回数）、当社利用率が合わせて7.2%増加いたしました。この結果と観光庁等から発表の訪日外国人宿泊統計等の既存統計を加味して、平成29年3月期第2四半期累計の訪日外国人の当社のご利用状況を推計しました。
- 訪日外国人の運輸成績への影響について、ご利用人員は一日平均約5.9万人と、前年同期比0.6万人、10.4%の増加、旅客運輸収入は17.8億円、前年同期比1.6億円、10.1%の増加と推計しました。
- 外国人向け企画乗車券の発売実績は平成29年3月期第2四半期累計で3.8億円と前年同期比で1.2億円、47.9%増加しました。



【参考11】平成29年3月期第2四半期における当社グループの主な取組

(1) 自然災害対策の推進

・首都直下地震等に備えた震災対策の実施

首都直下地震等に備え、震災発生時にも早期の運行再開ができるよう、高架橋柱の全数及び地上部の石積み擁壁の耐震補強工事を進めています。



石積み擁壁イメージ

・大規模水害に備えた浸水対策の実施

大規模浸水対策として、駅出入口において防水扉や止水板を設置するとともに、既存構造物の利用や建替えによる完全防水化を進めています。また、坑口（トンネルの入口部分）等への浸水対策も推進しています。

出入口の対策強化



完全防水型出入口（茅場町駅）

駅出入口における止水板の改良、腰壁の嵩上げや出入口の完全防水化を進めています。

坑口等の対策強化



防水ゲートイメージ

坑口にトンネルの断面を閉鎖することができる防水ゲート設置を推進しています。

(2) ホームドア整備

お身体の不自由なおお客様のご利用状況やホームの状況等を考慮して、すべてのお客様が安全にホームをご利用いただけるよう、全路線へのホームドアの整備を進めています。

また、車両のドア位置及びドア幅が異なる列車にも対応できる大開口ホームドアの実証試験を東西線九段下駅（中野方面行ホーム）で実施しています。



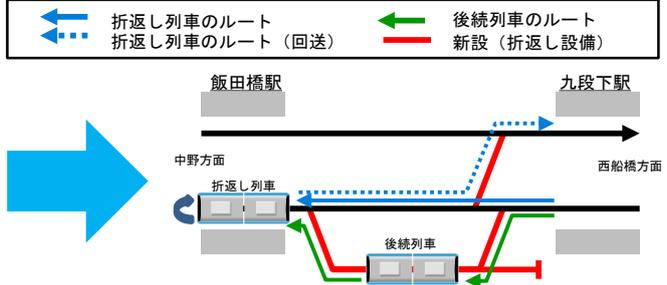
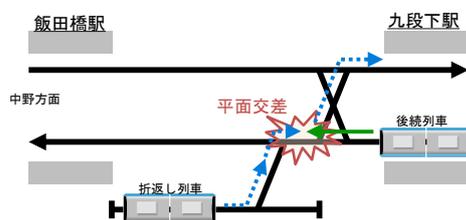
大開口ホームドア

(3) 東西線の遅延解消及び混雑緩和

混雑に伴う遅延の解消を目指し、飯田橋駅～九段下駅間折返し設備整備工事、南砂町駅のホーム・線路増設工事、木場駅のホーム・コンコース拡幅工事、茅場町駅のホーム延伸工事を進めました。

飯田橋駅～九段下駅間折返し設備整備

平面交差を解消し、将来の列車増発を可能にします。



南砂町駅

線路・ホームを増設し、列車の交互発着を行い、遅延防止と混雑緩和を図ります。



改良後の南砂町駅イメージ

木場駅

ホームとコンコースを拡幅して、お客様の流れを分散し、混雑緩和を図ります。



改良後の木場駅イメージ

【茅場町駅】

ホームを延伸して、お客様の流れを分散し、日比谷線への乗り換えをスムーズにします。

(4) 銀座線リニューアル

「伝統×先端の融合」を路線コンセプトとし、銀座線のリニューアルを進めました。

全駅改装

「東京メトロ銀座線・駅デザインコンペ」の第5弾として、青山一丁目駅など3駅を対象に駅デザインを公募しました。また、商業エリア3駅のデザインを決定しました。



リニューアル後の日本橋駅改札口イメージ

ホームドアの設置

銀座線全駅への設置に向けて、工事・設計を進めています。



銀座線上野駅ホームドア

渋谷駅移設工事

渋谷駅周辺再開発と連携した銀座線渋谷駅の移設・改良工事を進めています。



移設工事後の渋谷駅イメージ(ホーム)

1000系車両へ更新

新たに6編成(36両)が営業運転を開始し、計37編成(222両)となりました。また、操舵台車の採用により、騒音と振動の低減、走行エネルギー削減に寄与しています。



銀座線1000系

(5) お客様視点に立ったサービスの充実

すべてのお客様に安心してご利用いただけるよう、バリアフリー設備の整備を積極的に推進しています。また、ホームベンチの整備等により、駅の快適性を高める取り組みを進めています。

多機能トイレ整備

平成28年9月末
97.1% (134駅/138駅)
平成29年3月末(予定)
97.8% (135駅/138駅)



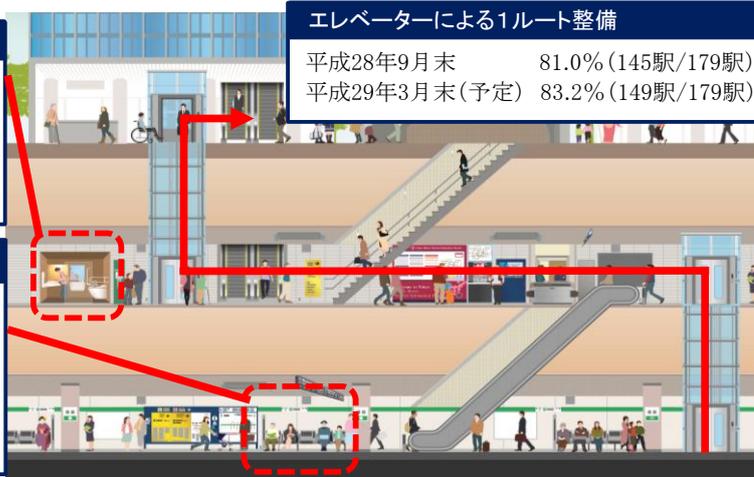
ホームベンチ整備

ホーム上のベンチのリニューアル・増設を行い、座って電車をお待ちいただく環境を整備しています。



エレベーターによる1ルート整備

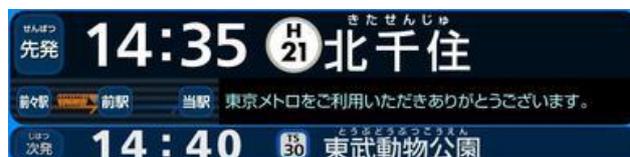
平成28年9月末 81.0% (145駅/179駅)
平成29年3月末(予定) 83.2% (149駅/179駅)



(6) 新型行先案内表示器の導入

お客様がご乗車の際により分かりやすく、安心してご利用いただけるよう、駅ナンバリング等の案内情報を充実させた新型行先案内表示器を設置しています。

海外からのお客様により分かりやすい案内をするため、従来の日本語と英語の2か国語表示に、中国語(簡体字)と韓国語を追加しました。



(7) LIVE JAPAN PERFECT GUIDE TOKYO

訪日外国人のお客様向けの観光情報を提供するウェブサイトとして4月に開始しました。

観光スポットや飲食店、商業・宿泊施設などを発信する「施設ガイド機能」、場所を基点として情報を検索できる「エリアガイド機能」、近隣の両替所やATM、Wi-Fiスポットなどを紹介する「様々な便利機能」といった特徴を生かし、訪日外国人のお客様の多様なニーズにお応えしていきます。

LIVE JAPAN
PERFECT GUIDE TOKYO



(8) 駅周辺開発における公募型連携プロジェクト

駅周辺で建物の建替えや開発を計画・検討する皆様から駅との接続を前提とした計画を募集するプロジェクトを開始しました。

第1弾として、4月に開始した茅場町駅と赤坂駅に続き、第2弾として高田馬場駅、東陽町駅、水天宮前駅、小伝馬町駅、湯島駅を対象とする開発提案の募集を行っています。



日比谷線茅場町駅2番出入口付近



千代田線赤坂駅6番出入口付近

【参考】平成29年3月期第2四半期における個別投資実績

平成29年3月期第2四半期においては、安全対策や旅客サービスを中心に536億円の設備投資を実施しました。「世界トップレベルの安心」を提供する地下鉄を目指して、「安心の提供」とさらなる企業価値の向上に向けて「成長への挑戦」に積極的に取り組み、平成29年3月期においては総額1,490億円の投資を行う予定です。

